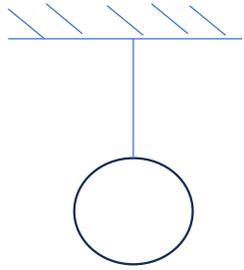


物質落下現象解析の罫・検証

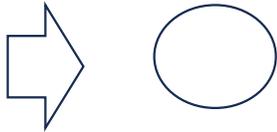


条件 1

ボールを拘束した状態で1秒の解析
この間に1Gを下方向に負荷する。

条件 2

糸を切るように拘束条件を外し、
自由落下を表現した。



結果

自由落下の**距離、速度が一致しない。**
解析時間を長くすれば誤差が拡大する。

対策

落下させる初期のステップのみ
時間幅を極小にする。なぜか21stepの結果誤差が出る。

解析ソフトでの重力条件の課題

条件：固定状態で重力を付加
その後、自由落下する。



落下速度に誤差が生じ、工夫が必要

原因推定

重力は要素に与えられる。自由落下になるとき、節点荷重へ変更すると考えられ、その際の誤差。